

◆いよいよ実用化が拡大してきた！

# 発泡成形の最新技術と活用事例

- 軽量化、薄肉成形、ソリ・ヒケ解消、寸法精度向上
- 常識をくつがえす最適な製品設計・金型設計
- 自動車・家電などで広い採用事例

\*射出発泡成形がますます全世界で実用化が進んでいる。とくに自動車軽量化の重要な部材としても適用が多くなってきた。  
基礎原理・成形事例・シミュレーションを解説する。

・開催日時 2019年6月7日（金）13時00分～17時00分 ・会場 きゅりあん（4階第2特別講習室）東京都品川区東大井5-18-1  
・参加費 正会員（個人・法人）31,000円 一般（会員外）36,000円（いずれもテキスト、資料代を含む）

## ■講師および講義内容

担当講師	講義内容
2019年6月7日（金） 13時00分～14時30分  マクセル株式会社 開発本部 イノベーション開発部長 遊佐 敦氏	<b>新しい射出発泡成形技術——飢餓スクリュ利用の低圧物理発泡</b>  1. 低圧発泡成形技術 RIC-FOAM とは (1) 開発経緯 (2) 発泡成形装置とプロセス  2. RIC-FOAM の特徴 (1) 発泡セルの制御 (2) 発泡成形の安定性  3. 耐熱エンブラへの応用  4. 今後の展望
2019年6月7日（金） 14時30分～15時30分  東洋機械金属株式会社 プラスター技術部 主任技師 澤田 靖丈氏	<b>東洋機械金属の発泡成形——特徴／成形事例</b> （仮題）  1. MuCellプロセスの特徴 2. 発泡成形機の特徴、機能 3. 今後の応用展開
2019年6月7日（金） 15時30分～16時30分  有限会社アーブテクノ （アーブルグ日本支社） 代表取締役 高萩 征男氏	<b>アーブルグの微細発泡成形技術——特徴／成形技術</b>  1. 射出発泡成形の概要 2. MuCellの成形プロセス 3. 発泡成形ProFoamの特徴、機能 4. 今後の応用展開

主催 プラスチック工業技術研究会

東京都品川区東中延2-9-18-202 TEL 03 (6426) 8661